

## 介護老人保険施設オアシス21 梶 幸奈

**功 績** 介護職員の採用に苦戦しているなか、平成29年4月入職の梶は自ら母校である北海道介護福祉学校（夕張）にボランティアとして訪問し、オアシス21の取り組みをアピール。本年度は実習生が来ず新卒採用は困難と思われていたが、2名の学生の採用につながった功績。

**推 薦 者** 認知症専門棟主任 斎藤 千沙

**推 薦 理 由** 全国的に介護職員が不足しており、オアシス21でも採用に苦戦しているなか、入社して半年の職員が母校の行事にボランティアとして訪問。オアシス21での仕事のやりがい、認知症ケア、先輩たちが沢山活躍していることを学生にアピールした結果、2名の新卒採用に結びついています。この成果は理事長賞に値すると思ひ推薦いたします。

### 内 容

---

介護福祉士の梶は平成29年3月に北海道介護福祉学校を卒業し、オアシス21に入職し認知症専門等で勤務している職員です。

彼女は学生時代はオアシス21に実習生として来ていて、その時点で、ご利用者のキラキラした笑顔のために職員が必死になっていて、誰でも多くの企画を提案できるオアシス21に魅力を感じ、就職先として決めていました。就職活動は求人情報の紙面など、少ない情報で決める場合も多い中、実習で来ていればその施設がどのような施設なのか肌で感じることができます。

通っていた学校は毎年学生が減ってきている影響もあり、本年度は実習生も来ませんでした。そのなかで、何とかオアシスの魅力を伝えたいと、自らボランティアとして母校の行事に参加。その中で学生に先輩として今働いているオアシスの魅力、介護の仕事について話すことができ、1名の学生がオアシス21に施設見学に来てもらえるようになりました。その1名はオアシスで多くの先輩が活躍していることを知り、また、施設の雰囲気を感じ、就職先としてオアシス21を志望。さらには学校に戻ったあと、友人に声をかけ、結果として2名を採用することができました。

学生からは面接の中で「オアシス21での認知症ケアを働きながら学びたい」との話がありました。梶も認知症専門棟の仕事のやりがいを感じ、行事委員としても多くの企画に携わっています。その「やりがい」が学生にも伝わり採用に結びついたと感じます。